| 学校番号 | T3017 |
|---|---|

# 平成 31 年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 現代文Ｂ（通） | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次（後期） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編　現代文Ｂ　言葉の世界へ　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし（補助プリントを配布します） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・定時制科目の現代文と学習内容は同じです。
・通信制科目ですのでテキストをもとに自分で学ぶことを基本とします。
・授業（ｽｸｰﾘﾝｸﾞ）の回数が少ないので大切にしてください。9 回以上出席しないと不可です
・レポートも規定数以上合格しないといけません。
・中間期末考査で一定の点数を取らなければいけません。
・半期で、2 単位分の授業内容を集約していますのでかなりしんどい授業になりそうです。

## 2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b: 話す･聞く能力 | c: 書く能力 | d: 読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化への理解の向上を図ろうとしている。 | ・本文の内容を踏まえ根拠を明確にして意見を述べることができる。<br>・目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりできる。 | ・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 目的に応じて、言語文化及まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。 | 言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 出席の状況<br>授業の態度<br>行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシート等） | 行動の観察<br>記述の確認及び分析（ノート、ワークシート等） | 記述の確認及び分析（ノート、ワークシート等）<br>定期考査 | 記述の確認及び分析<br>（ノート、ワークシート等））<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査　小テスト等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 月 | 単元 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 9・10 | 評論1 | スクーリング<br>・最初のペンギン<br><br>レポート<br>・豊かさと生物多様性 | ○ | | | ○ | ○ | a:内容を率先して理解しようとしている。<br>d:論旨を正確に捉えている。<br>e:漢字や慣用句を理解している。 | 出席の状況<br>授業態度<br>ワークシート<br>ノート<br>小テスト<br>定期考査 |
| 11・12 | 詩歌・随想 | スクーリング<br>・物語の外から<br><br>レポート<br>・竹<br>・永訣の朝 | | ○ | ○ | ○ | ○ | b: 自分の考えをまとめ、伝えている。<br>C: 自分の考えをまとめて、記述している。<br>d:論旨を正確に捉えている<br>e:漢字や慣用句を理解している。 | 出席の状況<br>授業態度<br>ワークシート<br>定期考査 |
| 1・2・3 | 評論・小説 | スクーリング<br>・言葉は世界を切り分ける<br><br>レポート<br>・鞄 | ○ | | | ○ | ○ | a:内容を率先して理解しようとしている<br>d:論旨を正確に捉えている<br>e:漢字や慣用句を理解している | 出席の状況<br>授業態度<br>ワークシート<br>ノート<br><br>定期考査<br>授業内の発表 |

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力 d: 読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。